

2019年度 愛知学泉大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|---|---|--|-----|--------|---------|
| | 社会教育課題研究 I Study on Challenges of Social Education I | | 専門 | 1 | 選択 | 4年 前期 |
| 科目の概要 | | | | | | |
| <p>本科目は、後期に開講される「社会教育課題研究Ⅱ」と連続するものとして位置づける。講義では、社会教育と生涯学習の概念、地域での社会教育のさまざまな実践(子ども、青年、女性、成人、高齢者、障がい者、外国人などの社会教育)、社会教育・生涯学習の法制度、NPO など市民の自発的な学習活動、社会教育の施設。職員、行政など、社会教育・生涯学習にかかわる基本的なことからについて、特に地域に視点をあてながら講義する。講義を踏まえて、社会教育に関する課題研究を行う。</p> | | | | | | |
| 学修内容 | | | 到達目標 | | | |
| ① 社会教育、特に地域社会教育と生涯学習の歴史や理念を学ぶ。 ② 社会教育および生涯学習の政策、施設、職員についての理解を深める。 ③ 現在の社会教育が抱える課題を学び、自身の問題意識を深化する。 ④ 自身が考える社会教育の課題を自ら考察する。 ⑤ 社会教育の課題を克服する方策を検討する。 | | | ① 社会教育、特に地域社会教育と生涯学習の歴史や理念について理解している。 ② 社会教育および生涯学習の政策、施設、職員について理解している。 ③ 現在の社会教育が抱える課題を学び、自身の問題意識を探究できている。 ④ 自身が考える社会教育の課題を自ら考察している。 ⑤ 社会教育の課題を克服する方策を検討、明示できている。 | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | さまざまな資料にあたり、自身で課題を発見し、考察を行う。 | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | |
| | 実行力 | 講義で取り上げた内容について、文献やインターネット等で調べ、社会教育の実態や課題を探究する。また、自身の身近な施設を訪問し、社会教育の現状を把握する。 | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 各回の講義を理解し、そこから自ら課題を発見する力を養う。課題を発見し深めるためのレポートを作成する。 | | | | |
| | 計画力 | | | | | |
| | 創造力 | 講義や授業でのディスカッション等を踏まえ、自ら社会教育事業を検討する。 | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 授業中のグループ討論やレポート等を通し、自らの考えを積極的に発信する。 | | | | |
| | 傾聴力 | 他者の意見を聞きつつ、考察を行い、課題を発見し、ディスカッションを行う。 | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | |
| | 規律性 | 指示された内容に則ってレポートをまとめる。授業中の指示を踏まえて、ディスカッションを行う。 | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | |
| 【テキスト】指定せず、授業で資料を配布する。 | | | | | | |
| 【参考文献】末本誠・松田武雄編著『新版 生涯学習と地域社会教育』春風社、2010年 その他の参考書については、授業で紹介する。 | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | |
| 他科目との関連:他の社会教育主事資格関係の科目と関連している。 | | | | | | |
| 資格との関連:社会教育主事(任用資格) | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | 受講生とのルール | | | |
| 日頃からさまざまな社会の動きに興味を持ち、情報を調べる。周囲の人々と現代社会が抱えるさまざまな課題についてディスカッションする機会を大切にしたい。また、ぜひ地元の社会教育施設を訪問して調べてほしい。 | | | 集中講義であるため、原則として授業にはすべて出席すること。 | | | |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|------------------|-------|---------------------------------|---|
| 筆記試験 | | | |
| 小テスト | | | |
| レポート | 60 | ① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ | <p>テーマ設定がしっかりとなされているか。</p> <p>自身の問題意識についてわかりやすく書かれているか。</p> <p>講義やディスカッションを通して発見した課題が指摘されているか。</p> <p>発見した課題を踏まえ、課題の克服のための方策が検討、明示できているか。</p> <p>結論のなかで、社会教育の今後の展望が明示されているか。</p> |
| 成果発表 (口頭・実技) | | | |
| 作品 | | | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ | <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業時のディスカッションに積極的に参加している。 <p>(実行力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身のテーマや計画に基づいて文献収集・分析や調査を行い、レポートにまとめることができる。 <p>(課題発見力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業でのディスカッションや文献分析などにおいて、自身の考える課題を見出し、それを明示することができる。 <p>(創造力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身のテーマを決め、しっかりと文献分析や調査を行い、レポートにその結果を明示できている。 <p>(発信力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自身の考えや疑問点などをはっきりと示している。 <p>(傾聴力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の履修生の報告を聞き、質疑や討論に参加している。 <p>(規律性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻、無断欠席、学修意欲の欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。 調査を行う際には、調査先に迷惑をかけず、倫理規定を守ることができる。 |
| その他 | 30 | ① ✓ ② ✓ ③ ④ ⑤ | <ul style="list-style-type: none"> 授業中のリアクションペーパーについて、授業のポイントを押さえ、自身の意見や考えが書かれているか リアクションペーパーの内容について、他の学生の意見も踏まえながら授業内で発表、議論できているか。 |
| 総合評価 割合 | 100 | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベル S(秀) 及び A(優) の基準 | 到達レベル B(良) の基準 |
|---|--|
| <p>A 評価の基準は、①社会教育の基礎を理解したうえで、自身の考える社会教育の課題、在り方を明確化するとともに、自身でテーマ設定し、文献調査やフィールドワークを行っている、②その成果をわかりやすくレポートにまとめている、③授業では、積極的に議論に参加し、発言する、④総括として、授業での討論や自身の調査を振り返りつつ、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表し、レポートにまとめている、という4点を満たしているかである。</p> <p>S 評価の基準は、A 評価の基準に加え、自身の身近な社会教育の現状、課題を把握し、本授業で学んだことをいかに自身の生活のなかの社会教育に活かすことができるかについて考察できているか、という点から評価を行う。</p> | <p>社会教育の基礎を理解したうえで、社会教育の課題、在り方を考え、テーマを設定し、文献調査やフィールドワークを行う。その成果をレポートにまとめる。授業では議論に参加し、発言する。総括として、現在における社会教育の課題や今後の展望について考察し、発表、レポートにまとめる。</p> |

| 回 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間 (分) | 能力名 |
|---------|---|---------|--|---|----------------|-----------|
| 1回 / | 「オリエンテーション、社会教育と生涯学習」 授業の概要と進め方について説明する。 日本における社会教育と生涯学習について考える。 | 講義 | 現在の社会教育の概要を把握し、自身の考える社会教育の課題を検討することができている。 | (予習)これまで履修した社会教育の授業を振り返る。 (復習)1回目の授業内容を振り返る。 | (予習復習合計) 60 | 課題 発見力 |
| 2回 / | 「社会教育・生涯学習の法制度①」 教育基本法、社会教育法における社会教育について理解を深め、考える。 | 講義 | 主に、日本の教育基本法、社会教育法における社会教育について理解できている。 | (予習)身近な社会教育関連の法は何か考察する。 (復習)授業内容を振り返るとともに、社会教育の法に関する文献、資料に触れる。 | 60 | 課題 発見力 |
| 3回 / | 「社会教育・生涯学習の法制度②」 生涯学習政策、生涯学習振興整備法と社会教育について考える。 | 講義 | 生涯学習政策、生涯学習振興整備法と社会教育について理解できている。 | (予習)前回の授業を踏まえつつ、生涯学習関連の法は何かを考察する。 (復習)授業内容を振り返るとともに、生涯学習の法に関する文献、資料に触れる。 | 60 | 課題 発見力 |
| 4回 / | 「社会教育・生涯学習の法制度③」 社会教育・生涯学習と「公共性」について理解し、考察する。 | 講義 | 社会教育・生涯学習と「公共性」について理解できている。 | (予習)「公共性」とは何かを考え、身近な例を挙げる。 (復習)授業を振り返りつつ、「公共性」についての資料を調べる。 | 60 | 課題 発見力 |
| 5回 / | 「社会教育の施設と学習の支援者①」 社会教育施設の意義と役割について理解し、社会教育施設としての図書館、図書館の専門職員について考える。 | 講義 | 社会教育施設の意義と役割について理解し、社会教育施設としての図書館、図書館の専門職員について把握できている。 | (予習)身近な社会教育施設について調べる。 (復習)授業を振り返りつつ、身近な図書館の現状を調べる。 | 60 | 課題 発見力 |
| 6回 / | 「社会教育の施設と学習の支援者②」 博物館の目的、役割について把握し、博物館の現代的課題を考察する。 | 講義 | 博物館の目的、役割について把握し、博物館の現代的課題を理解できている。 | (予習)自身が行ったことのある博物館を振り返る。 (復習)授業を振り返りつつ、身近な博物館の現状を調べる。 | 60 | 課題 発見力 |
| 7回 / | 「社会教育の施設と学習の支援者③」 地域における学習拠点としての公民館について考える。 | 講義 | 地域における学習拠点としての公民館の意義や役割について理解できている。 | (予習)地元の公民館について調べる。 (復習)授業を振り返りつつ、日本の公民館の現状を調べる。 | 60 | 課題 発見力 |
| 8回 / | 「社会教育の施設と学習の支援者④」 日本から世界に目を移し、世界におけるCLC(Community Learning Center)について理解を深め、考える。 | 講義 | 世界におけるCLC(Community Learning Center)について理解できている。 | (予習)自身の興味がある国の社会教育施設について調べる。(復習)授業に出てきた地域の社会教育施設について調べ、自身の興味がある国と比較する。 | 60 | 課題 発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 回 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベル C(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|---|---------|---|---|-------|--|
| 9回 / | 「社会教育行政と NPO・ボランティア①」 NPO、NGOとは何かを理解し、NPO、NGO と社会教育、生涯学習の関わりについて考える。 | 講義 | NPO、NGO とは何かを理解し、NPO、NGO と社会教育、生涯学習の関わりについて把握できている。 | (予習)NPO とは何かについて、予習する。(復習)日本あるいは世界におけるNPO、NGO の活動について調べる。 | 60 | 課題発見力 |
| 10回 / | 「社会教育行政と NPO・ボランティア②」 社会教育施設、社会教育とボランティアの関わりについて考える。 | 講義 | 社会教育施設、社会教育とボランティアの関わりについて理解できている。 | (予習)ボランティアとは何かについて考える。(復習)身近な社会教育施設におけるボランティアについて調べる。 | 60 | 課題発見力 |
| 11回 / | 「社会教育行政と NPO・ボランティア③」 社会教育行政と NPO、ボランティアの現代的関係について考える。 | 講義 | 社会教育行政と NPO、ボランティアの現代的関係について把握できている。 | (予習)行政と NPO、ボランティアの連携活動について調べる。(復習)身近な事例を調べる。 | 60 | 課題発見力 |
| 12回 / | 「社会教育・生涯学習の計画づくり①」 自治体の社会教育・生涯学習の計画づくりについて考える。 | 講義 | 自治体の社会教育・生涯学習の計画づくりについて理解できている。 | (予習)社会教育計画とは何かを調べる。(復習)身近な自治体の社会教育計画について調べる。 | 60 | 課題発見力 |
| 13回 / | 「社会教育・生涯学習の計画づくり②」 自治体における社会教育・生涯学習計画の策定について、事例を通し考察する。 | 講義 | 自治体における社会教育・生涯学習計画の事例を理解できている。 | (復習)身近な自治体の社会教育計画について調べる。 | 60 | 課題発見力 |
| 14回 / | 「ワークショップ(1)」 これまでの授業を踏まえてワークショップを行い、社会教育の課題について考える。 | 講義および演習 | ワークショップに参加し、自身の考えを積極的に発信できている。 | (予習)これまでの授業を振り返り、自身の興味のある社会教育のテーマを設定する。(復習)自身の設定したテーマに基づいて、レポートを準備する。 | 60 | 発信力 傾聴力 実行力 創造力 主体性 |
| 15回 / | 「ワークショップ(2)」 これまでの授業を踏まえてワークショップを行い、社会教育の課題について考える。 | 講義および演習 | ワークショップに参加し、自身の考えを積極的に発信できている。 | (予習)自身のレポートを準備する。(復習)授業の総復習を行う。 | 60 | 発信力 傾聴力 実行力 創造力 主体性 規律性 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力